

第6学年 外国語活動 活動案

1 単元名 Lesson6 行ってみたい国を紹介しよう I want to go to Italy. (英語ノート2)

2 目標

- ・ 自分が行ってみたい国とその理由を友達に積極的に伝えようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・ 行ってみたい国とその理由を話す活動を通して、自分が行きたい国についてのやりとりをするときの言い方を知り、英語の音声やリズムに慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- ・ 友達と交流をする活動を通して、世界にはいろいろな文化があることに気付く。
(言語や文化に関する気付き)

3 単元について

(1) 児童の実態

外国語活動も2年目を迎え、6年生の1学期終了時のアンケートを見ると、5年生終了時に比べ、外国語活動に対する関心の高まりが見られた。その理由として、友達のことが分かったり、友達に自分のことを知らせたりすることを挙げた児童が多くなり、単に英語を聞く・話す活動が楽しいという5年生での姿からの変容が見られる。また、「積極的に英語を聞いてみようとした」児童も増えてきた。しかし、反面、「どのように言ったらよいか分からない」ことや「恥ずかしい」ことを理由に、英語を話すことに抵抗を感じている児童がいることも事実である。

「どのように言ったらよいか分からない」ことは、児童が十分に言い慣れていなかったり、活動内容に無理があったりすることが原因と考えた。そこで、各時間の中で、形態を変えながら言い慣れる活動を取り入れた。さらに、特に難しいと思われる表現については、第1時から繰り返し使っていくことにした。

「恥ずかしい」ことについては、児童の中で「間違えると恥ずかしい」「普段、あまり話さない子に話しかけづらい」ことが原因と考え、多くの友達と必然的に話さなければならない場面を意図的に設定し、今まで知らなかった友達の新しい一面を発見する楽しさを見出せるようにした。また、外国語活動のみでなく、各教科や道徳の時間等を用いて、友達とのかかわりを増やし、人間関係を深めていくことにした。うまく表現できない児童に対しても、周りの児童が積極的にかかわっていくことができるように働きかけていくことを心掛けた。

(2) 単元構想

本単元は興味をもった国を友達に紹介する単元である。児童は、今年行われた冬季オリンピックやサッカーワールドカップ大会を通して、世界には多くの国があることに気づき、今まで知らなかった国に興味をもつことができた。また、「総合的な学習の時間」の「世界を知ろう」の学習でも、同じ年齢の子どもの様子調べを通して、様々な国についても、さらに知りたいという気持ちを高めている。

そこで、導入部分である第1時では、16の国を提示し、積極的に多くの友達とのかかわりをもつことができるゲームを取り入れるとともに、いろいろな国に親しみをもたせるようにした。ここでは、ALTとのTTの活動を展開していく中で英語での国名の言い方に慣れていく。第2時では、第1時で取り上げた国の中から自分が行ってみたい国とその理由について友達と対話ができるような場面を考えた。第1時から導入した表現にI like ~.を加えた対話であるため、児童も抵抗なく取り組めるものと思われる。TTの形態を取り入れ、対話のやりとりを提示していく中で、表現の仕方も分かっていくであろう。さらに、第2時終了後には、第1時に取り上げなかった国のうち、8か国の中から興味をもった国について、「総合的な学習の時間」を用いて調べていく活動を取り入れていくこととした。外国語活動を通して、自分が本当に行ってみたい国を思い浮かべる児童も多く出てくるものと思われる。第3時では、対話の内容を広げていくために、famousを用いることとした。単に「好き」という理由だけでなく、第4時につなげていくことも考えた。famousという語は児童にはなじみがないものと考えられるため、チャンツを用いて、リズムよく言い慣れる活動を取り入れることとした。また、形態を変えた活動を多く行うことにより、言い慣れる場面を豊富に設定するとともに、より多くの児童と接する機会を意図的に設けていく。さらに、第3時終了後には、第4時に自信をもって話ができるように、「総合的な学習の時間」に8か国の中から同じ国を選んだ児童同士が集まり、情報を共有する時間を設ける。第4時では、自分が調べた国の情報を使って、自分が行きたい国とその有名なものについて友達と交流ができる場面を考えた。ここでは、自分が実際に調べた内容を活用でき、第1時よりも「相手に伝えたい。」「友達はどの国を、どんな有名なものがあるから選んだんだろう。」という思いをもって、より多くの友達とのかかわりがもてるものと思われる。

4 単元計画

	目 標	観 点			主 な 活 動
		関	親	気	
1	<p>「行きたい国をたずねよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな国の英語での言い方や、行きたい国について尋ねたり、答えたりする言い方を知り、慣れ親しむ。 <p>国の名前 Where do you want to go? I want to go to Spain.</p>				<p>Listen 国の名前を知る。 Japan, America, China, Egypt, Italy, Australia, Switzerland, Germany, Canada, Spain, Brazil, India, France, South Africa, Korea, England</p> <p>Activity1 世界地図ゲーム 国の位置と国の名前を合わせる。</p> <p>Activity2 ピンゴゲーム 行きたい国についてのピンゴゲームをする。</p>
2	<p>「自分の行きたい国と理由を言おう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 行きたい国とその理由について尋ねたり、答えたりする言い方に慣れ親しむ。 <p>Where do you want to go? I want to go to Italy. I like pizza.</p>				<p>Activity1 キーワードゲーム 8か国の有名な人や物の言い方に言い慣れる。 sushi, sumo, pizza, spaghetti, hamburger, オバマ, panda, 北京ダック, pyramid, camel, koala, kangaroo, cheese, ハイジ, sausage, ハートベン</p> <p>Activity2 国の名物当てゲーム 有名な物と国を結びつける。</p> <p>Activity3 インタビューゲーム 自分の行きたい国と理由について尋ね、答える。</p>
総合	<p>「世界の国について知ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな国の国旗と位置、食べ物、場所について調べる。 				いろいろな国の国旗と位置、食べ物、場所について調べる。
3	<p>「いろいろな国の有名なものをたずねよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな国の有名なものを尋ね、答える言い方に慣れ親しむ。 <p>Famous food(place), please. - Sushi.</p>				<p>Activity1 国名ステレオゲーム</p> <p>Activity2 チャンツ 有名なものの言い方に慣れる。</p> <p>Activity3 インタビューゲーム いろいろな国の有名なものについて友達とやりとりをする。</p>
総合	<p>「世界の国の有名なものについて詳しく知ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな国の有名なものについて詳しく調べる。 				興味をもった国について、友達と情報交換する。
4	<p>「おすすめの国と、その国の有名なものを紹介しよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に自分がすすみたい国と、その国の有名なものを紹介する。 <p>Where do you want to go? I want to go to Brazil. Famous food(place), please. - Pizza. I like soccer.</p>				<p>Listen 国の名前に言い慣れる。</p> <p>Activity1 チャンツ 有名なものの言い方に慣れる。</p> <p>Activity2 リレーゲーム 国と有名な物の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>Activity3 有名なものを紹介しよう。 友達におすすめの国と、その国の有名なものを紹介する。</p>
道徳	<p>「外国の人々と仲良くなるよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国の人々や文化を大切にすることを学ぶ。 				心のノート「心は世界を結ぶ」を学習し、世界に向け、外国の人々や文化を大切にすることを学ぶ。

第6学年3組 本時の活動

- 1 活動名 Lesson6 第1時 「行きたい国をたずねよう」
- 2 ねらい いろいろな国の英語での言い方や、行きたい国について尋ねたり、答えたりする言い方を
知り、慣れ親しむ。
- 3 準備物 デジタルコンテンツ、振り返りシート、国旗カード、提示用白地図
- 4 学級の実態と目指す子ども像に迫るための手だて
学級の実態として、会話の内容が複雑でなかなか覚えられなかったり、固定された友達とならコミュニ
ケーションをとろうとするけれども、それ以外のクラスメートとは恥ずかしくて話せなかったりするという実
態がある。そこで、行きたい国の尋ね方や答え方に慣れさせるために、T1とT2のやり取りを見せて、
“Where do you want to go?”を使う場面をイメージさせやすくしたり、たくさんの児童と話ができ、楽し
めるように、ピンゴゲームを取り入れたりする手だてを工夫した。
- 5 展 開

分	【学習活動の内容】 児童の活動 指導者の活動	指導上の留意点	評 価
1	[Greeting] 気持ちよくあいさつをする。 Hello. Let's start our English class.		
5	[Listen] 国の名前の言い方を知り、言い慣れる。 (16か国) Japan, America, China, Egypt, Italy, Australia, Switzerland, Germany, Canada, Spain, Brazil, India, France, South Africa, Korea, England	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が国旗と国名を一致させやすいよう に、国旗の下に国名を英語で表記した カードを使う。 ・ T2は16か国の国の言い方を知らせる。 T1は児童と一緒に言う。 	
12	[Activity 1: 世界地図ゲーム] 世界地図ゲームのやり方を見せる。 黒板の世界地図を見ながら、 T1: This is a world map. T1: Where is this country? (No.1) S: (アメリカだから)No.1. T1: Good. America is here. (地図上に示す。) グループで世界地図ゲームをする。 T1: Where is the country? From No.1 to 10. T1: 2 minutes. Ready go! 黒板の世界地図で国の位置を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板にNo.1～10の数字が書いてある世 界地図をはる。 ・ 4人のグループになり、世界地図と10か 国の国旗を渡す。 ・ グループで話し合い、国旗を世界地図 上に当てはめていく。 ・ T2は、児童の中に入って一緒に考え る。 ・ T1が16か国の国旗を地図上に提示し、 いろいろな国の位置を確認する。 	
22	[Activity 2: ピンゴゲーム] 行きたい国を尋ねる様子を見せる。 T2: Hi. T1: Hello. Where do you want I want to go to to go? England. 行きたい国について尋ね答える言い方に慣れ る。 T2: Where do you want to go? S: Where do you want to go? T1: I want to go to Korea. T2: Ask(児童), answer(教師) S: Where do you want to go? T2: I want to go to Brazil. ピンゴゲームのデモンストレーションを見せる。 T2: Hi. T1: Hi. Where do you want I want to go to Italy.	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1はガイドブックや時刻表などを持ち、 児童に旅行をしているイメージをもたせ る。 ・ 言い慣れる場面で、T1はI want to go to ～.の後に、国旗カードを示してから、国 名を言う。 ・ 児童に抵抗感をもたせないように、1文 を節で切って、言い慣れる。 Where / do you / want to go? I / want to / go to Korea. ・ 全体 A・B side ペア 個人の順に 言い慣れる活動をする。 ・ 個別で言い慣れる活動では、T1とT2が 両側から1人ずつ聞いていく。 ・ ピンゴカードと国旗カードを配る。 ・ 16か国の国旗の入ったピンゴカードを 用意する。本時は、自分の行きたい国を 	

	<p>to go?</p> <p>T2: OK! (T2はItalyの国旗につける。)</p> <p>T2: Oh, no! (すでに国旗につけている場合)</p> <p>同様にT1が質問をし, T2が答える。 ビンゴゲームをする。</p>	<p>答えるのではなく, 持っているカードの国を言うようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手が言った国の国旗をビンゴカードの中から見つけ, つける。 国旗ビンゴが2列そろったら, 前に整列し, 早くそろった児童を紹介する。 <p>いろいろな国の英語での言い方や, 行きたい国について尋ねたり, 答えたりする言い方を知り, 慣れ親しもうとしたか。 (行動観察)</p>
4	<p>[Review]</p> <p>本時のねらいにそって, 振り返りをする。</p>	
1	<p>[Greeting]</p> <p>あいさつをする。 That s all for today. See you.</p>	

第6学年1組 本時の活動

- 1 活動名 Lesson6 第2時 「自分の行きたい国と理由を言おう」
- 2 ねらい 行きたい国とその理由について尋ねたり、答えたりする言い方に慣れ親しむ。
- 3 準備物 英語ノート、振り返りシート、デジタルコンテンツ、国の有名な物の画像資料、はえたたき、8か国の国旗カード、旅行パンフレット、会話補助絵カード
- 4 学級の実態と目指す子ども像に迫るための手だて
外国語活動を楽しみにしている児童が多い反面、友達とコミュニケーションをとることに対して苦手意識が強い児童が目立つ。楽しさを感じている一方で恥ずかしい気持ちが強いようである。そこで、ゲーム的な活動を通して、自然に友達とかわるここのできる状況を設定して活動させたい。特に、男女がかかわる機会をゲームの中で意図的につくることで、自分の思いや気持ちを進んで伝えられるようにし
- 5 展 開

分	【学習活動の内容】 児童の活動 指導者の活動	指導上の留意点	評 価
1	【Greeting】 気持ちよくあいさつをする。 T1, T2: Hello. Let's start our English class.		
8	【Activity 1: キーワードゲーム】 8か国の有名な人や物の言い方を知り、言い慣れる。 sushi, sumo, pizza, spaghetti, hamburger, オバマ panda, 北京ダック, pyramid, camel, koala kangaroo, cheese, ハイジ, sausage, ハートペン キーワードゲームをする。 T1: Sushi! S: Sushi!(拍手2回) T1: Koala! S: Koala!(拍手2回) T1: Cheese!(キーワード) S: (消しゴムキャッチ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Japan, Italy, America, China, Australia, Egypt, Germany, Switzerland の8か国を扱う。 ・ 言い方が難しい言葉については日本語で行う。 ・ 2人組を組み、机を向かい合わせにする。中央に消しゴムを1つ置き、キーワードが聞こえたら消しゴムを相手より早く取る。 ・ 1回戦ごと相手を替え、いろいろな人とゲームができるようにする。 ・ T2は、全体を見回し、状況をつかめていない児童を支援する。 ・ ゲームが終わるたびに、国旗と有名な人や物の関連が分かるように整理して掲示していく。 	
14	【Activity 2: 国の名物当てゲーム】 有名な物がどの国と結び付くのかを考え、名物当てゲームをする。 S: Where do you want to go? S1: Sumo! S2: Sushi! (はえたたきで押さえる) T2: Japan! T1: Group2 and group5 get 1point.	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとにジャンケンし、1～6の順番を決めておく。5人グループは、6人目がだれでもよいと伝える。 ・ 児童全員で教師に質問し教師が答える。 ・ 教師が言った国に関係する写真を代表児童がはえたたきで押さえる。グループ対抗にして意欲づける。 ・ T1は全体の活動を把握し、T2は児童の問いに答える。 	
	【Activity 3: インタビューゲーム】 冬休みが近づき、旅行を考えている状況を見せながら、行きたい国とその理由について受け答えしていることを理解させる。 T1: Hello! T2: Hello! T1: I want to go to Switzerland. T2: Where do you want to go? T1: I like ハイジ. T2: Why? T2: That's nice.	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行のパンフレットを提示したり、ジェスチャーを交えたりしながら対話し、状況を理解しやすくする。 ・ 「なぜ」「ナイス」などを連想させるような絵カードや国旗カードを掲示して、会話の補助をする。 	

16	<p>答える言い方に慣れる。</p> <p>T1: Hello! S: Hello! T1: I want to go to Switzerland. S: I want to go to Switzerland. T1: I like ハイジ. S: I like ハイジ.</p> <p>尋ねる言い方に慣れる。</p> <p>T1: Where do you want to go? S: Where do you want to go? T1: Why? S: Why? T1: That's nice. S: That's nice.</p> <p>インタビューゲームのやり方を見てやる。</p> <p>T1: Hello! T2: Hello! T1: I want to go to Germany. T2: Where do you want to go? T1: I like ベートーベン. T2: Why? T2: That's nice. (switch) T1: Where do you want to go? T2: I want to go to America. T1: Why? T2: I like マイケル・ジャクソン. T1: That's nice. (カードを交換する) T1: Here you are. T2: Thank you. T1: Thank you. T2: Here you are. T1: Bye! T2: Bye!</p> <p>相手を替えながらペアを作り、互いに持っているカードの国について、尋ねたり理由を付けて答えたりする。</p> <p>ポイントを確認して、賞揚する。 T1: How many points? Big hands!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2は、児童と一緒に言い、支援する。 ・ 少しずつ自分で会話できるように、形態を全体、グループ、ペアへと替えながら繰り返し言う。 ・ 8か国のカードをランダムに配付し、持っている国について答える。 ・ ペアでの活動が終わるたびにカードを交換する。 ・ 1人できると1ポイント、異性とできると2ポイントとする。 <p>行きたい国やその理由について尋ねたり、答えたりする言い方に慣れ親しもうとしたか。(行動観察、振り返りカード)</p>
5	<p>[Review]</p> <p>本時の自分のよかったところを振り返る。</p>	
1	<p>[Greeting]</p> <p>あいさつをする。 T1, T2: That's all for today. See you!</p>	

第6学年4組 本時の活動

- 1 活動名 Lesson6 第3時 「いろいろな国の有名なものをたずねよう」
- 2 ねらい いろいろな国の有名なものを尋ね、答える言い方に慣れ親しむ。
- 3 準備物 国旗カード、有名なものの絵や写真、ワークシート、会話補助絵カード、ホワイトボード、振り返りシート

4 学級の実態と目指す子ども像に迫るための手だて

外国語活動を楽しみにしている児童が多い反面、思うように話したり聞いたりすることができないと感じている児童が数人いる。また、外国語活動を通して積極的にコミュニケーションをとっている児童がいる一方で、うまく話せない、聞き取れない、恥ずかしいなどの理由でしり込みしている児童もいる。そこで、自然により多くの友達とコミュニケーションがとれるようなゲームをしたり、英語表現を繰り返し言い慣れる場を設定したりして、英語表現に親しみながら友達とかかわる機会を増やすようにしたい。

5 展 開

分	【学習活動の内容】 児童の活動 指導者の活動	指導上の留意点
1	<p>【Greeting】 気持ちよくあいさつをする。 Hello. Let's start our English class.</p>	【評 価 欄】
8	<p>【Activity 1: 国名ステレオゲーム】 8か国の国名に言い慣れる。 Japan, America, Switzerland, Australia, Egypt, Germany, China, Italy</p> <p>国名ステレオゲームをする。 T1: Ready, go! 問題を言う側 答える側 S(一斉に): America, Chinaなど S1: America. S3: Yes. S2: China. S4: Yes. など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の名前の言い方に慣れるように国旗カードを使う。 ・ 出題者を募り、1人1枚国カードを渡し、英語で言うように促し、教師の合図で一斉に言わせる。 ・ 聞いている児童には、出題者が何と聞いているか聞き取って発表するように伝える。 ・ 自分が言った国名を言い当ててもらった児童から席に戻るよう指示する。
14	<p>【Activity 2: チャンツ】 旅行者が日本の有名なものを尋ねる場面を見せる。 T1: Hi! (日本の国旗を示して) T2: Hi! (首をかしげながら) T1: Famous food, Famous food? Pizza? Pizza? No! It's Italy. Oh! No. Hamburger? No! Japanese famous (分かったという表情で) food, please. T2: Sushi! Yes. It's famous Oh, yes. food. Here you are. Thank you. You are welcome.T1: Japanese famous T2: Famous place? place, please. Fuji-san. T1: OK. Thank you. You are welcome. Bye. Bye.</p> <p>有名なものを尋ねたり、答えたりする言い方に慣れる。 (聞き方) T1: Famous food, S: Famous food, please. T1: Famous place, S: Famous place, please. please. S: Famous sport, please. (答え方) T1: Sushi. S: Sushi.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本を例にして、有名なものの絵や写真を提示しながらT1, T2が famousの意味が分かるように演じる。 ・ ホワイトボードに8か国の有名な絵や写真をはっておき、T1, T2の演技の中で、黒板にはり替えながら種類ごとにまとめる。 ・ placeは初めて聞く言葉なので、絵や写真を見せて補足する。 ・ 黒板に掲示してある日本の有名なもののカードを使って、food, sport, placeそれぞれ一つずつ例を出す。 ・ 教師が質問し児童が答える、交代する、AサイドとBサイドに分かれて言うなどして、言い慣れる。 ・ T2は、児童の補助をしながら、児童と一

	<p>T1:Fuji-san. S:Fuji-san. T1:Sumo. S:Sumo.</p> <p>チャンツをする。 “Famous Chant”(Japan) Famous food , famous food, famous food, please. Sushi, sushi, sushi. Famous place, famous place, famous place, please. Fuji, Fuji, Fuji-san. Famous sport, famous sport, famous sport, please.</p>	<p>緒に唱える。</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムをとりながら , 日本を例に作ったチャンツをする。 有名なものの絵や写真を示しながらチャンツをする。 T1が前に立ってチャンツをし , T2は児童の中に入って一緒にチャンツをする。 								
17	<p>[Activity 3 : インタビューゲーム] ゲームのやり方を見せる。</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>T1:Hi! じゃんけんをして , (勝ち) T1:Where do you want to go? T1:Good ! T1 :Hamburger. T1:You are welcome.</p> </td> <td> <p>T2:Hi! (負け) T2:I want to go to America. T2:Famous food, please. T2:Thank you.</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:center;">(交代して)</td> </tr> <tr> <td> <p>T2:Where do you want to go? T2:Oh , no! Sorry.</p> </td> <td> <p>T1:I want to go to Germany. T1:Oh,no!</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">Bye.</td> <td style="text-align:center;">Bye.</td> </tr> </table> <p>絵カードを使って , インタビューゲームの表現に 言い慣れる。</p> <p>「インタビュー」ゲームをする。</p>	<p>T1:Hi! じゃんけんをして , (勝ち) T1:Where do you want to go? T1:Good ! T1 :Hamburger. T1:You are welcome.</p>	<p>T2:Hi! (負け) T2:I want to go to America. T2:Famous food, please. T2:Thank you.</p>	(交代して)		<p>T2:Where do you want to go? T2:Oh , no! Sorry.</p>	<p>T1:I want to go to Germany. T1:Oh,no!</p>	Bye.	Bye.	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物 , 場所 , スポーツごとに , 一つの国の情報が書いてあるが , 他の国は白抜きになったワークシートを6種類用意する。 日本とアメリカを例にして , 有名な食べ物を聞き合って , 自分のカードに記入するやり方を見せる。 互いに自分の持っている情報を伝え合うことと , 聞かれた国についてのみ答えることを押さえる。 すべての国について書き込むことができても , 他の児童のインタビューを受けるように指示しておく。 教師と児童 , 隣同士など形態を変えて , 表現に言い慣れてからゲームをする。 食べ物について聞き合うことができたら , 場所やスポーツについて聞き合うワークシートを配布して , 同じゲームをする。 T1,T2ともに , 表現に戸惑っている児童に寄り添い , 支援する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">有名なものを尋ね , 答える言い方を知り , 言おうとしたか。(行動観察 , 振り返りシート)</p>
<p>T1:Hi! じゃんけんをして , (勝ち) T1:Where do you want to go? T1:Good ! T1 :Hamburger. T1:You are welcome.</p>	<p>T2:Hi! (負け) T2:I want to go to America. T2:Famous food, please. T2:Thank you.</p>									
(交代して)										
<p>T2:Where do you want to go? T2:Oh , no! Sorry.</p>	<p>T1:I want to go to Germany. T1:Oh,no!</p>									
Bye.	Bye.									
4	<p>[Review] 本時のねらいにそって , 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートに書いたことを数人に発表してもらう。 								
1	<p>[Greeting] あいさつをする。 That's all for today. See you!</p>									

第6学年2組 本時の活動

- 1 活動名 Lesson6 第4時 「おすすめの国と、その国の有名なものを紹介しよう」
 2 ねらい 友達に自分がすすめたい国と、その国の有名なものを紹介する。
 3 準備物 国名カード(提示用) (食べ物・場所・スポーツ・動物)の絵を描いた紙
 おすすめしたい国の資料が入った英語ファイル(児童) ワークシート 振り返りシート

4 学級の実態と目指す子ども像に迫るための手だて

外国語活動をすすめていくに従い、外国語活動への楽しみを友達とのかかわりの中に見出す児童が増えてきた。しかし、言い方が分からないために恥ずかしがったり、決まった友達とのみ活動をしたりする様子が見られることもある。そこで、チャンツやリレーゲームの中で繰り返し言うことにより、活動に用いる表現に言い慣れるようにしたい。また、全体や列ごと、ペアなどと形態を変えていきながら、多くの友達と交流をする活動を取り入れるようにしていきたい。

5 展開

分	【学習活動の内容】 児童の活動 指導者の活動	指導上の留意点	[評 価]
1	【Greeting】 気持ちよくあいさつをする。 Hello. Let's start our English class.		
3	【Listen】 国の名前を言う。 Japan, America, Italy, Korea, Spain, India, South Africa, Brazil, Canada, England, France	<ul style="list-style-type: none"> 本時の後半で用いるKorea, Spain, India, South Africa, Brazil, Canada, England, Franceの8か国も扱う。 	
5	【Activity 1 : チャンツ】 チャンツをする。(日本編) Famous food, famous food, famous food, please. Sushi, sushi, sushi. Famous sport, famous sport, famous sport, please. Sumo, sumo, sumo. 世界編に変えてチャンツをする。	<ul style="list-style-type: none"> 言い慣れるために、日本編のチャンツから始める。 T1は、有名なものの絵や写真を示しながら、チャンツをする。T2は、児童と一緒にチャンツをする。 	
10	【Activity 2 : リレーゲーム】 やり方を見せる。 ・ T2は、(食べ物・場所・スポーツ・動物)の絵を描いた紙を持つ。 T1:Famous food, please. OK. Famous place, please. OK. リレーゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> 通りごとに4つの有名なものを描いた絵を渡し、ジェスチャーをつけながら友達に絵を示す言い方に慣れさせる。 T2は紹介をしているようなジェスチャーをつけながら、T1に絵を示す。 T1とT2の対話を2回見せ、やり方を知らせる。 T1は全体を見回し、T2はやり方が分からない児童を支援する。 	
	【Activity 3 : 有名なものを紹介しよう】 やり方を見せる。 T1: Hello. Welcome to America. Hamburger.	T2: Hello. Famous food, please. OK. I like hamburgers. Famous place, please.	<ul style="list-style-type: none"> T1は旅行会社の人のように、ファイルに入れた実際の写真を見せながら英語を言い、英語の内容をつかませる。 T2はT1のおすすめの有名なものをワークシートに記入した後、その国への「行ってみたいくなった度」を の数で示す。

22	<p>White House. Look. (ファイルの写真を見せながら)</p> <p>絵を用い、紹介する表現に言い慣れる。</p> <p>T1・T2の対話を再度聞く。</p> <p>「のり」の国の有名なものを紹介しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスを半分にし、「旅行会社」役と「お客さん」役に分ける。途中で交代する。 ・ 「旅行会社」役は、1人ずつ机を用い、机の上に自分がすすめる国の旗を提示し、「お客さん」役とやりとりする。 ・ 「お客さん」役は、時間内に自分の調べた国以外の旅行会社をまわる。 ・ 「お客さん」役は、「自分が行ってみたい国」を持っているワークシートに の数で記入する。 <p>行ってみたい国No.1を決定する。 S1: Where do you want to go? S2: I want to go to Canada.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ + の情報がある場合の言い方も示す。 ・ 次に行く友達との交流の中で、会話の内容がスムーズに出てくるように、会話の順を示した絵を用いる。 ・ 「旅行会社」役は一人ずつ、総合的な学習の時間に集めたそれぞれの国の有名なものをファイルした物を持たせ、友達に分かりやすく示すように指示する。 ・ 会話の順序を示した絵を黒板に提示し、友達とのやりとりの参考にさせる。 ・ T1は、全体の活動の様子を把握する。T2は、友達とのかかわりがうまくいかない児童を支援する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">友達に自分がすすめたい国と、その国の有名なものを紹介しようとしたか。 (行動観察・振り返りシート)</p>
3	<p>[Review]</p> <p>本時のねらいにそって、振り返りをする。</p>	
1	<p>[Greeting]</p> <p>あいさつをする。 That's all for today. See you!</p>	